2015.02

tel 026-295-13<mark>25</mark>

りとなりましたが、 韓国からの研修生受け入れは残念ながら見送 は続いています。 は例年通り派遣することができ、 生の受け入れと活発な活動が行われた1年と なりました。セウォル号の事故の影響を受け、 本年度も海外研修、セメスター留学、 本学からの研修・留学生 相互の交流

実施してきました。 深めてから渡航できるような研修を目指し、 スキルを学び、 ました。 海外研修では事前・事後の研修にも力を入 全員が異文化コミュニケーション 訪問する国について知識を

いと考えています もらえるよう、 国際交流センターでは、 より多くの学生に海外体験をして さまざまな支援をしていきた 今後もさらなる充

参加人数

10名

6名

20名

9名

9名

15名



いうことだったが、英語だけでは

研修の目的は英語で交流すると

らためて知ることができたと思う。

したことにより、

日本の良さをあ

オーストラリアにて

その国の言葉、文化、歴史を知ろ める大きな役割を果たすと感じた。 うことも、 なく現地の言葉を覚え、

現地の人との関係を深

使うとい

切になる。 受け止めることが必要だと思った。 れないこと、 互. いのことを理解し合うことが大 また異文化交流では、 共通の考え方を見つけ、 相手に対する想いを忘 相手の考え方などを 違いを

韓国にて

台湾にて

が大切である。 うとする気持ちと努力をすること お

問をされた。その際自分がいかに 切だと思う。 とも大切だが、それと同じくらい 本について知っておくことが大 本を知らないかを思い知らされ 台湾では日本について多くの質 現地の言葉や文化に触れるこ

について知ることの

モンゴル文化研修

非日常の自然体験

平成26年度海外研修プログラム実績

主な内容

ホームステイをしながら 現地語学学校への通学

現地大学生との交流活動 フィールドトリップなど

現地大学生との交流活動、 孤児院への訪問など

がこの研修に参加しようと

提携校にて英語での授業体験、 フィールドトリップなど

国際 COM 科2年

宮澤

杏奈

草原の小学校修復活動、 ゲル宿泊体験、市内観光など

姉妹校交流、ホームステイ体験 市内観光など

期間

H26 8/17 ~8/30

H26 9/5 ~ 9/12

H26 9/1 ~ 9/8

H26 9/11 ~9/19

H27 2/8 ~ 2/22

H27 2/24 ~ 3/3

際の場面でどのくらい活用できる て異文化交流をしたいと思い、 思った理由は、自分の英語力を使っ

か知りたかったからだ。

修を終えた今、自分のなか

価値観が広くなったと感じ

研修先

オーストラリア

モンゴル

韓国

台湾

ハワイ

てい

る。

異文化の中で生活

フィリピン

人間学部2年 小林

研 修前はまったくの未知であ

> ていた以上に日本と関わりがあ 快適に過ごすことができた。 本人にとても友好的で、 たことに驚いた。現地の人々は日 たモンゴルという国 が、自分が思 研修中は

流できた。 とっても初めての日本人との異文 特に学校では、現地の生徒たちに むことができていたように思う。 言葉であいさつができるようにな 化交流だったが、互いに楽しく交 に従え」をモットーに、 緊張していたが、「郷に入っては郷 初めての海外で研修前はとても 楽 い時間を過ごすことがで 最初こそ言葉は通じな 最終日には互いの 案外馴染 国 0

草原の動物たちの姿は普段見られ たのも自分にとっての大きな宝に ない光景で、 また、モンゴルの雄大な自然や 非日常の体験ができ

こと、 動範囲 きているとすれば、 修を終えた自分が少しでも成長で べてが初めてのことだった。 モンゴルで見たもの、 験を通して、自分の視野、 研修前の準備なども含め 一の広がりが実感できた。 とてもうれ 研 行



モンゴルにて

From my time in Nagano, I really have a lot of great memories that I will never forget in my lifetime! That was the first time for me to go abroad and interact with people from different backgrounds. I made many friends and had a good time with nice people in Nagano, and this made me realize how interesting the language is when I truly use it. Also, I absorbed a lot of knowledge and got many new experiences every day. I not only experienced a different culture, but also I could share it with my friends. Thanks to this program, I learned a lot and also had a good time! Heidi Huang

係も年々密 3回目とな が生活をサポ 国際コミュニケーション科の学生 雄第一科技大学) になってき 情や信頼関 定着し、友 もすっかり るこの研修 生を受け入れています。 今年度で し、スクールライフやホー 毎年夏休みを利用して本学を 本学では台湾の学術 しています。 から短期の研 滞在中は主 提携校 ムス

今年度の研修生